

EX1200

HITACHI

EX1200

運転質量

バックホウ : 108,000kg

ローディングショベル : 111,000kg

バケット容量

バックホウ : 3.0 6.5m³

ローディングショベル : 5.9 6.5m³

エンジン出力 : 482kW(655PS)



NEW GIANT

の真価を問う。

巨大マシンには、威風堂々とした体軀ボディにふさわしい
真価が問われる。

「大作業量」「耐久性」「メンテナンス」

「安全性」「快適性」は、

つねに儲かるショベルとしての必須のアイテム。

NEW GIANTには、そのテクノロジーと、

さらにビッグなパフォーマンスが求められる。

トータルバランスに優れたEX1200は、

新時代の超大型マシンをリードする

価値をもって誕生。

パワフル 大作業量

BEフロント&S/Pモード

作業量 **30% アップ**
(対EX1100-3)

高い作業性を生む
大出力エンジン (国土交通省、EPA、EU排出ガス2次規制に適合)
大出力・大排気量エンジンを搭載。燃費効率に優れたインタークーラを採用し、生産性向上と工期短縮、トータルのコストダウンを実現します。

412kW (560PS) (EX1100-3)

482kW (655PS)

作業性を高める
大容量バケット
バケット幅当たりの掘削力が大きく、食い込み性に優れた大容量バケットを採用。作業量の増大と効率の良い作業が行えます。



バックホウバケット: 標準/岩用

5.0m³/5.0m³

BEバケット: 標準/岩用

6.5m³/5.6m³

パワーアップした
力強い掘削力
パワフルなエンジンと優れた油圧システムにより、最大掘削力をアップ。採石現場などで力強い作業を実現します。



最大掘削力

標準フロント 5.0 m³ 岩用バケット

460kN (46,900 kgf)
(EX1100-3)

475kN (48,400 kgf)

BEフロント 5.6 m³ 岩用バケット

533kN (54,300 kgf)
(EX1100-3)

550kN (56,100 kgf)

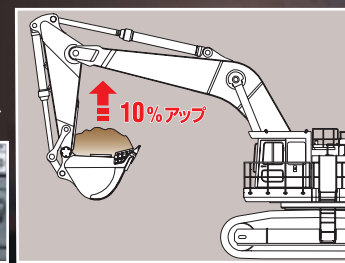
『キビキビ』&『つながりの良い』
フロント複合操作

定評のある『OHS:最適油圧システム』を踏襲。さらに、従来のアーム再生制御に加え、ブーム再生制御を新たに採用しました。スピーディ&スムーズなフロント動作で、作業効率を高めます。



ブームリフト力10%アップ
ヘビーリフト

石材の切り出し作業や大塊処理作業など重量物の持ち上げに威力を発揮します。



高い作業性と経済性を両立させた

E-P制御

エンジン出力を有効に活用するスピードセンシング式馬力制御。作業状況に応じてエンジン出力とポンプ吐出量をコンピュータがエネルギーのロスを抑えます。



S/Pモードで作業量アップ
ポンプ吸収馬力を増大。より粘り強く、力強い作業が行えます。

Eモードで燃費低減
軽作業時の燃費効率を高め経済的な作業が行えます。



さらなる省エネを実現させる
オート&クイックアイドル

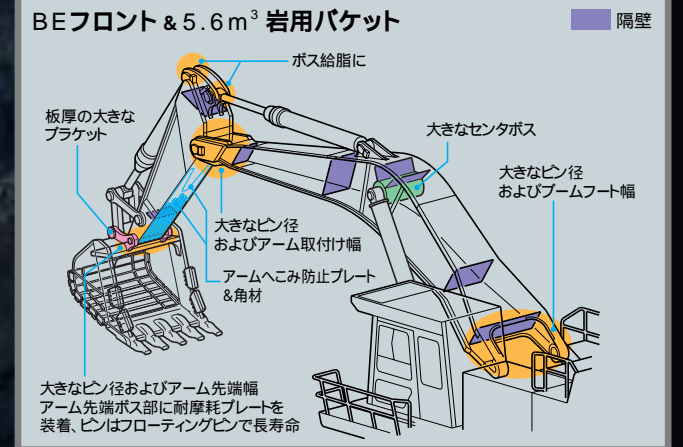


鋼鉄の筋肉 強腕



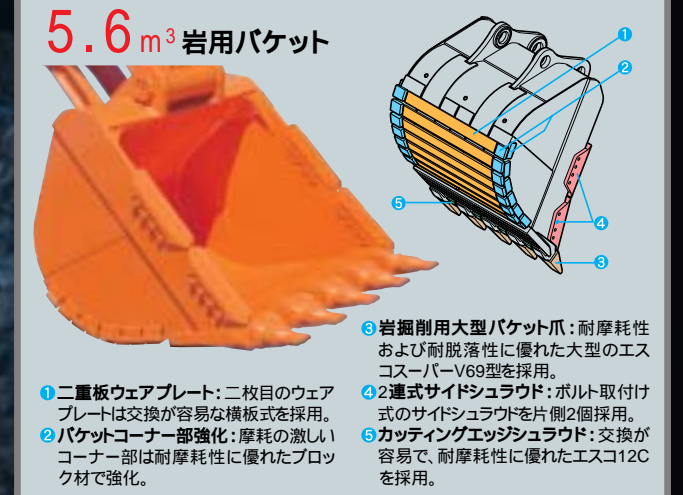
耐久性に優れた ブーム/アーム

曲げやねじれ応力に強い高張力鋼を採用。断面積の大きいボックス型構造です。さらに隔壁を随所に採用した剛性の高いフロント構造です。



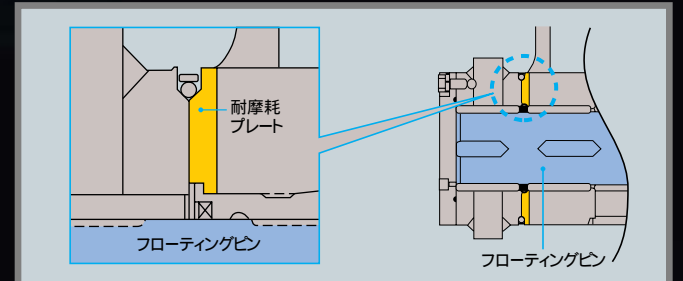
ハードな現場にこたえる 採石専用バケット(5.0m³/5.6m³ 岩用バケット)

耐摩耗性に優れ、衝撃に強い採石専用の強化型バケットです。



丈夫で長持ちのアーム先端 ピン回りの強化

アーム先端ボス側面に耐摩耗プレートを装着しました。
(3.4m BEアーム/3.4m 標準アーム/4.5m セミロングアーム)
アーム先端ピンに実績あるフローティングピン式を採用しました。



油圧機器の耐久性を高める
別置きオイルクーラ
オイルクーラとラジエータを別置きにして、冷却効果を高めました。作動油温を下げて油圧機器類の耐久性をさらに向上しました。



信頼性の高い
低速回転・大排気量エンジン
余裕ある大型エンジン採用で、エンジンの寿命を延長。

下板を保護する アームへこみ防止プレート & 角材

岩石の巻き込みによるアーム下板の損傷を防ぐため、アームへこみ防止プレート&角材を採用しました。



鋼鉄の筋肉 剛脚



頑丈な強化型の 昇降ステップ

板厚をアップし、取付けボルトを保護する強化型、大型ステップを採用。岩や障害物の突き上げによるステップと手すりの損傷を低減します。



力強い作業を支える 大型の足回り

クローラ全長6,410mm/全幅4,610mmと大型の足回りを採用。安定性と耐久性を向上しました。

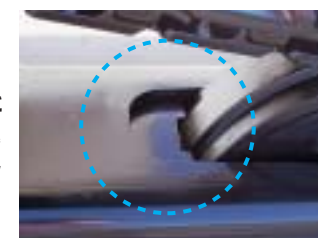
損傷を受けにくい 走行装置(対EX1100-3)

コンパクトに収めた走行装置、強化された減速機、フレームの形状変更と板厚アップなど耐久性を高め損傷によるダウンタイムを低減します。



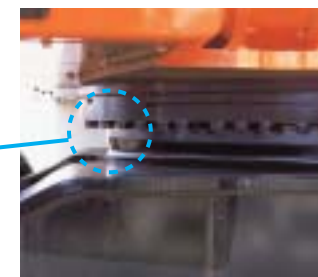
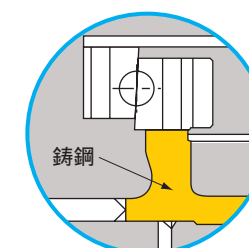
石や岩の浸入を防ぐ 噛み込み防止ガード

フロントアイラとトラックフレームとのすき間には、石などの噛み込みを防止するガードを装着しました。



信頼性の高い トラックセンタフレーム

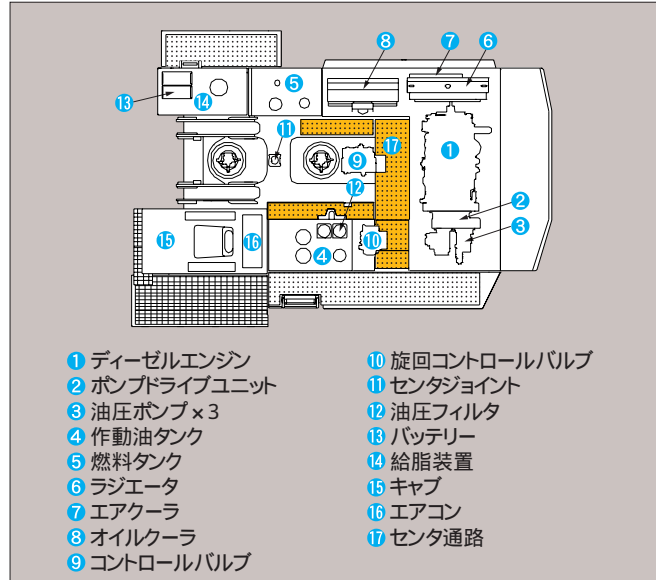
トラックセンタフレームの旋回輪取付部は、一体鋳鋼構造で応力集中を緩和し信頼性を高めました。



イージーメンテナンス トータルライフコスト低減

スペースが広く 点検、整備が容易

広い点検スペース。アクセスがしやすい通路と機器の合理的な集中配置により、日常のメンテナンスが楽に行えます。



センタ通路



工具箱スペース

清掃が容易な
ラジエータ、
オイルクーラ



手間と時間を短縮 自動給脂装置

標準装備された自動給脂装置、給脂作業が大幅に軽減。
(バケット回りおよび旋回輪を除く)



給脂が容易な、
電動式ルブリケータ
バケット回りや旋回輪への給脂が容易な電動式ルブリケータを標準装備しました。

手間と経費節減の

エンジンオイル/燃料フィルタ交換間隔延長

エンジンオイルの交換間隔が、500時間ごとに、燃料フィルタは1,000時間ごとにそれぞれ延長しました。



広い点検用ドアの
エンジン/ポンプ室
広い開口面積をもつ点検用ドア。メンテナンスがスムーズに行えます。

交換が容易な エアコン外気導入用フィルタ

フィルタを大型化し、能力アップと長寿命化をはかりました。



容易でスピーディなメンテナンス 配電盤

キャブ後部の上方に配置し、点検が容易になりました。

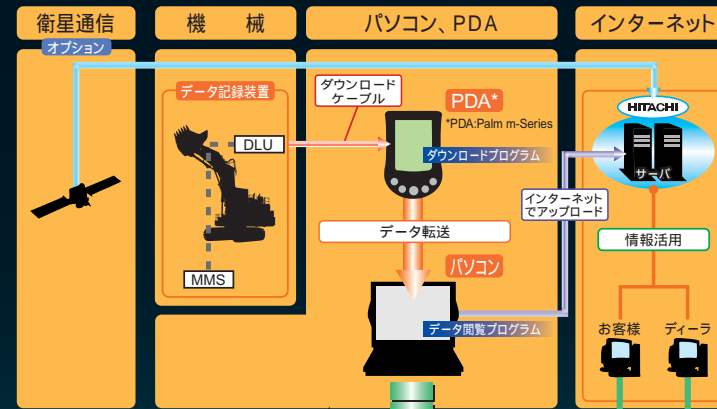


*写真は配電盤ボックスを開けた状態です。



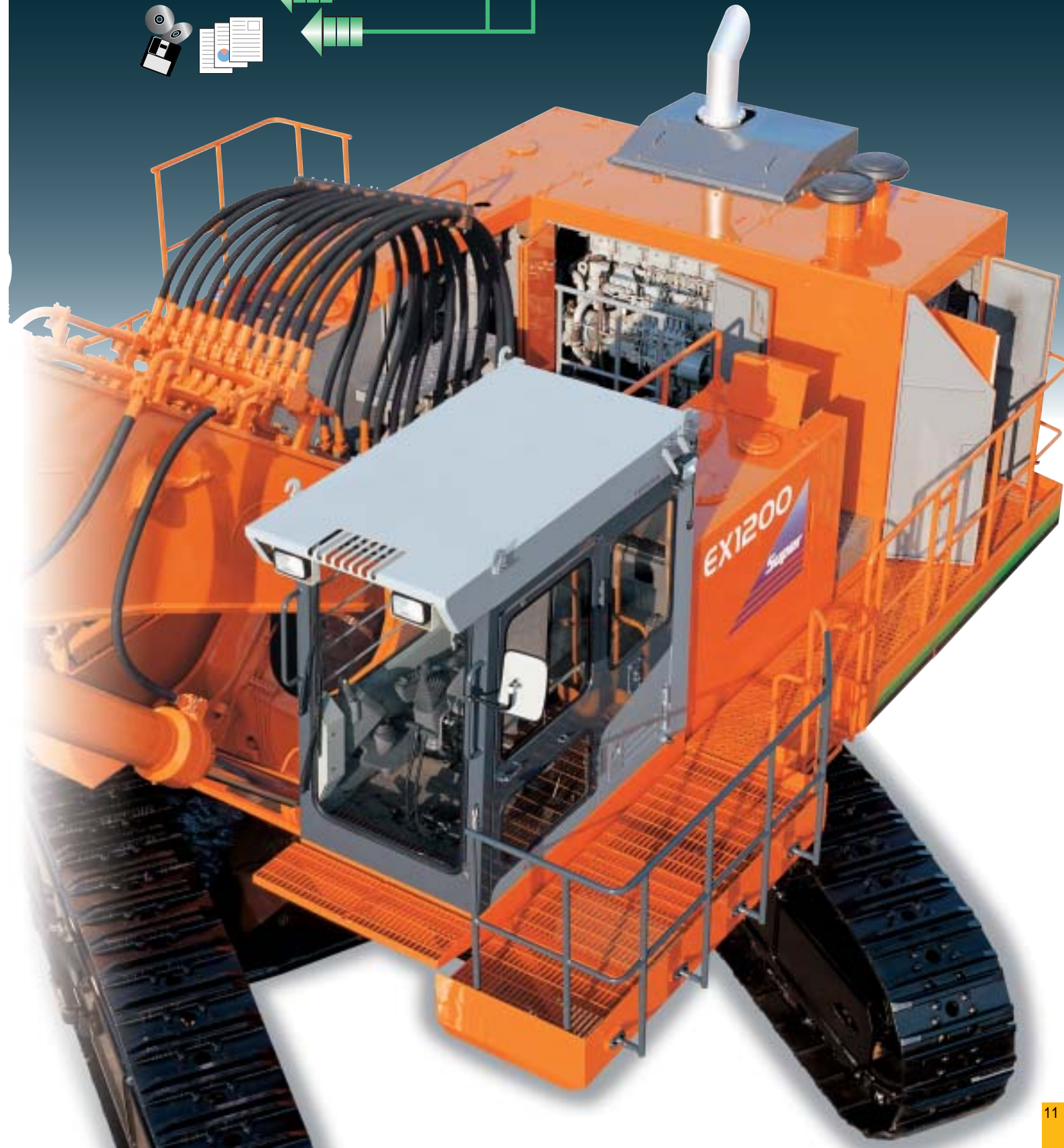
ちり、ほこりを分離、排出 ダストエジェクタ (エアクリーナ)

空気中のほこりやちりを自動的に分離/排出して、エレメントの清掃と交換インターバルを延長しました。



日立大型ショベルモニタシステム

機械の稼働状況や各種警告の発生状況を検出するとともに、それらを記録するシステムです。このシステムのメインユニットとなるDLU(データロギングユニット)は絶えずエンジンおよび油圧システムの稼働状況やセンサ故障などの警告を記録します。記録された情報はパソコンで閲覧することができます。



エピローグ

終章なき追求 安全性



明るく、的確に照射する
可倒式作業灯
キャブ上の作業灯は可倒式を採用。作業に合わせた照明ができます。



タイマ付き夜間降車用
ステップライト
サイドウォークや昇降ステップを1分間照らし、足元を明るくしてくれます。



メンテナンス時の安全性を高める
広幅サイドウォークと大型手すり
キャブへの昇降や、点検・整備がより安全にできる広幅のサイドウォークと大型手すりを随所に設置しています。大型手すりは世界で最も厳しいヨーロッパのEN安全規格に適合しています。

EN: European Norm
(欧州規格)



オペレータを保護する
頑丈なヘッドガード一体型加圧式キャブ

ISO規格のOPG(オペレータ保護ガード)に適合(ただし、キャブ前面ガードはオプション)。落下物からオペレータを保護する安全性の高いもので、耐振強度に優れた、頑丈なフレーム構造のヘッドガード一体型のキャブです。

OPG: Operator Protective Guards



(社)日本砕石協会 '98安全基準適合車に指定
(ヘッドガード一体型加圧式キャブ内に
消火器の設置が必要です。)



サンバイザ(オプション)
前面ガード(オプション)



前面ガラス飛散防止
フィルム(オプション)

安全性を高める各種装備



エンジン/ポンプ隔壁



巻き込み式シートベルト



ロックレバー(ロック時)



キャブ右窓ガード



緊急脱出用ハンマ



キャブ内消火器(オプション)

環境

排出ガス対策型
クリーンエンジンを搭載
『国土交通省排出ガス2次規制適合』、さらにEPA(米国環境保護局)、EUの排出ガス2次規制にも適合したクリーンエンジンです。

リサイクルを考慮し、
樹脂製部材に材料名を表示
リサイクルを考慮、樹脂製部材に素材を表示しました。



ヒューズボックス



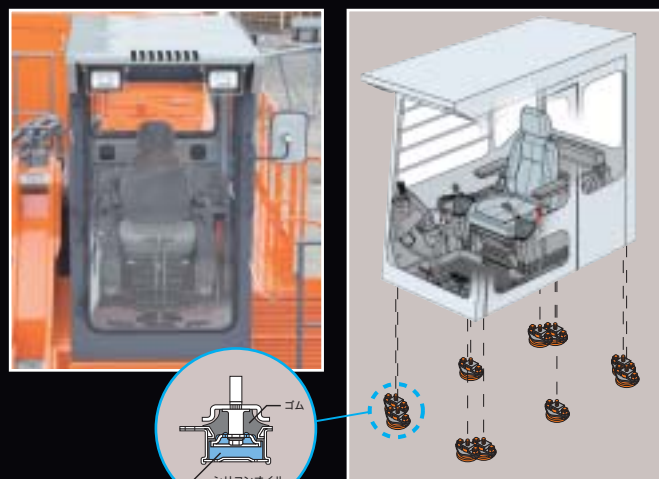
国土交通省、EPA、EU排出ガス
2次規制クリア
フィルタ交換間隔延長
樹脂製部材に材料名表示

ゆとりの空間 快適

キャブ容積 **10%アップ**
(対EX1100-3)

疲れが少ない快適な
 ゆとりの大型キャブ

従来機比10%アップの大型キャブを採用。視界も良好でゆとりの運転環境を確保しました。また、オペレータの乗り心地アップや疲労を軽減する、液体封入防振ゴムを採用しました。



乗り降りが楽な
 大型キャブドアの採用

キャブドア上部開口幅

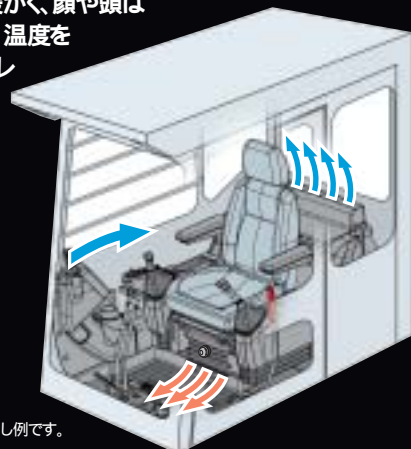
キャブドア側窓開閉幅

165mm
 アップ
(対EX1100-3)

196mm
(EX1100-3)
246mm

素早い温度調節で快適な
 大容量パイレベル方式フルオートエアコン

設定温度によって、風量や吹き出し口、温度を自動的にコントロール。さらに、足元は暖かく、顔や頭は涼しく…。場所によって、温度を変えることができるパイレベル機能を装備。



イラストは、パイレベル時の吹き出し例です。

見やすく、視認が容易
 モニタパネルは、視界の中に

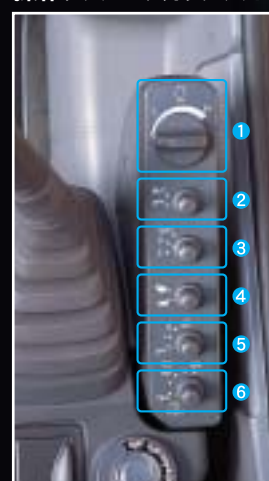
モニタパネルは、オペレータの自然な視線の動きで、確認できる位置にレイアウト。



液晶表示部
 標準モード:【アワーメータ】
 【トリップメータ】
 【トリップメータ2】
 の3種類の情報を表示切替えて表示。トリップメータはオイル、フィルタ類などの交換時間をセットスイッチで任意に設定できます。

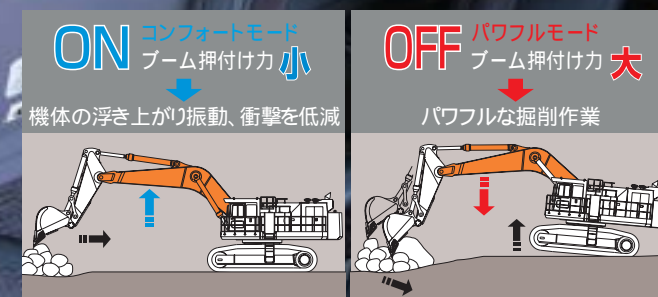
使い易さを優先した設計で
 スイッチは、操作レバーのそばに

操作レバーとスイッチパネルは使いやすさを考え、レバーを移動するときには、一体となって動きます。



- 1 エンジンコントロールダイヤル
- 2 オートアイドル・オートアクセル選択スイッチ
- 3 パワーモードスイッチ
 S/P: スーパーパワーモード
 P: パワーモード
 E: エコノミーモード
- 4 走行モードスイッチ
 高速: 0~3.5 km/h
 低速: 0~2.4 km/h
- 5 作業灯スイッチ
 1: 機体右 / キャブ下作業灯
 2: 機体右 / キャブ下&キャブ上作業灯
- 6 ワイパ・ウォッシュスイッチ
 可変間欠ワイパ
 ウインドウォッシュ連動式

振動・衝撃を押さえる
ブームモードスイッチ
 作業内容に応じて、ブーム押付け力の切替えができます。また、快適な運転環境と機械の長寿命化が図れます。



さまざまな作業に対応できるベースマシン

採石

バックホウ



採石

ローダフロント



解体

ハイリフトフロント



大型土木

BEフロント



海洋土木

しゅんせつ
浚渫船



海洋土木

揚土船



荷役

リフティング
マグネット



荷役

グラップル



仕様(バックホウ&BEフロント)

| 仕様 | EX1200-5c | |
|-----------------|--|---|
| | 標準フロント | BEフロント |
| 運転質量 | kg 108,000 | 109,000 |
| 機体質量 | kg 77,170 | |
| 標準バケット容量 | 山積容量 新JIS | m ³ 5.0 / 岩用:5.0 |
| | 旧JIS | m ³ 4.4 / 岩用:4.4 |
| | 平積容量 | m ³ 3.8 / 岩用:3.8 |
| 標準シュー幅 | mm 710 | |
| 性能 | | |
| 接地圧 | kPa(kgf/cm ²) 136(1.39) 137(1.40) | |
| 旋回速度 | min ⁻¹ (rpm) 5.8(5.8) | |
| 走行速度 高 / 低 | km/h 3.5 / 2.4 | |
| 登坂能力 | 度(%) 35(70) | |
| 最大掘削力 新JIS | バケット | kN(kgf) 457(46,600) 岩用:475(48,400) 550(56,100) 岩用:550(56,100) |
| | アーム | kN(kgf) 411(41,900) 岩用:411(41,900) 412(42,000) 岩用:412(42,000) |
| エンジン | | |
| 名称 | 三菱S6R-Y2TAA-2 | |
| 形式 | ターボ付き直接噴射式 | |
| 定格出力 | kW / min ⁻¹ (PS / rpm) 482 / 1,650(655 / 1,650) | |
| 総行程容積(総排気量) | L(cc) 24.5(24,500) | |
| 油圧装置 | | |
| 油圧ポンプ形式 | 可変容量形ピストン式×3、歯車式×1 | |
| 主リリーフ弁セット圧 | MPa(kgf/cm ²) 31.4(320) | |
| 旋回油圧モータ形式 | 定容量形ピストン式×2 | |
| 走行油圧モータ形式 | 可変容量形ピストン式×2 | |
| 駐車ブレーキ形式(旋回・走行) | 機械式 | |
| 油・水類の容量 | | |
| 燃料タンク | L 1,400 | |
| 作動油タンク | L 1,350/610(標準レベル) | |
| エンジンオイル | L 118 | |
| 冷却水 | L 113 | |

注 単位は国際単位系(SI)による単位表示です。()内は従来の単位表示を参考値として併記したものです。

作業範囲(バックホウ&BEフロント)

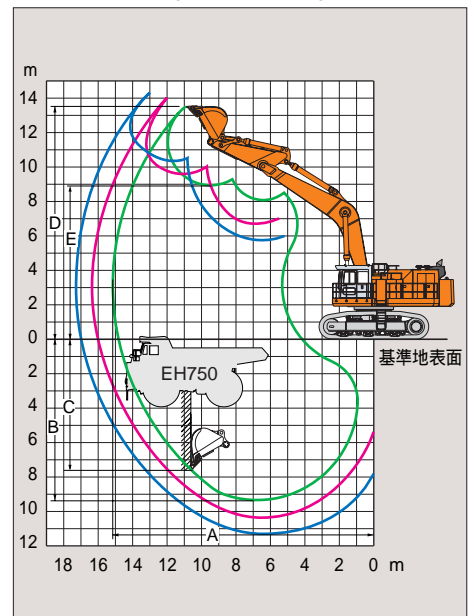
| 仕様 | BEフロント | | バックホウ | | |
|-------------|-------------|------------|---------------|-------------|--|
| | 7.55m BEアーム | | 9.1m 標準アーム | | |
| | 3.4m BEアーム | 3.4m 標準アーム | 4.5m セミロングアーム | 5.8m ロングアーム | |
| A 最大掘削半径 | 13,760 | 15,340 | 16,380 | 17,360 | |
| *B 最大掘削深さ | 7,940 | 9,340 | 10,420 | 11,420 | |
| *C 最大垂直掘削深さ | 5,080 | 7,620 | 8,880 | 10,360 | |
| *D 最大掘削高さ | 12,300 | 13,490 | 14,020 | 14,400 | |
| *E 最大ダンプ高さ | 8,020 | 8,920 | 9,430 | 10,360 | |

注 *印寸法はシューラグ高さを含みません。

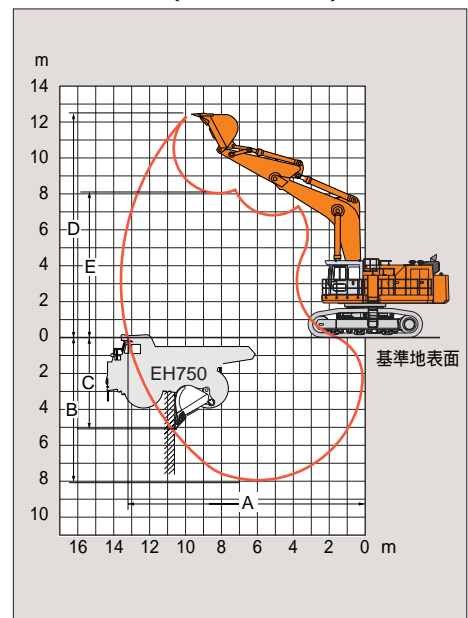
各種バケット(バックホウ&BEフロント)

| 容量 m ³ | 幅 mm | | 爪数 本 | 質量 kg | BEフロント | | | |
|-------------------|------------|------------|------|-------|------------------------|------------|---------------|-------------|
| | サイドシュラウド無し | サイドシュラウド有り | | | BEアーム 7.55m BEアーム 3.4m | 標準アーム 3.4m | セミロングアーム 4.5m | ロングアーム 5.8m |
| 新JIS(旧JIS) | | | | | | | | |
| 岩用3.0(2.7) | 1,700 | 1,800 | 5 | 3,100 | | | | |
| 3.4(3.0) | 1,840 | 1,940 | 5 | 3,250 | | | | |
| 岩用3.5(3.2) | 1,470 | 1,570 | 5 | 4,300 | | | | |
| 4.0(3.6) | 1,620 | 1,720 | 5 | 4,160 | | | | |
| 岩用4.5(4.0) | 1,710 | 1,810 | 5 | 4,650 | | | | |
| 5.0(4.4) | 1,920 | 2,100 | 5 | 4,490 | | | | |
| 岩用5.0(4.4) | 1,860 | 1,960 | 5 | 5,460 | | | | |
| 岩用5.6(4.9) | 2,140 | 2,240 | 5 | 6,510 | | | | |
| 6.5(5.7) | 2,210 | 2,310 | 6 | 6,350 | | | | |
| 強化6.5(5.7) | 2,210 | 2,310 | 6 | 7,020 | | | | |

作業範囲図(バックホウ)



作業範囲図(BEフロント)



仕様(ローディングショベル)

| | | |
|----------|----------------------------|---------------|
| 運転質量 | kg | 111,000 |
| 機体質量 | kg | 80,900 |
| 標準バケット容量 | m ³ | 6.5 |
| 接地圧 | kPa(kgf/cm ²) | 139(1.40) |
| 最大掘削力 | kN(kgf) | 589(60,100) |

作業範囲(ローディングショベル)

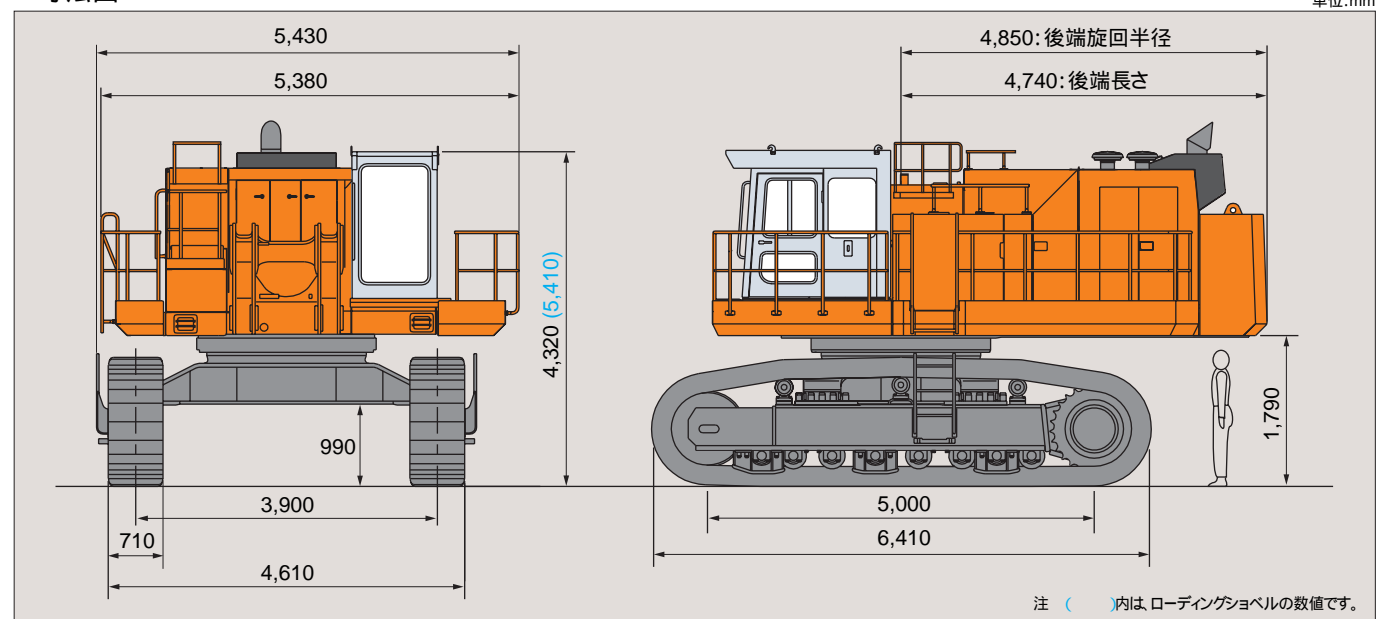
| 仕様 | 値 | 単位:mm |
|---------------|--------|-------|
| A 床面最小掘削半径 | 4,460 | |
| B 床面仕上げ最小半径 | 6,520 | |
| C 床面水平作業距離 | 4,340 | |
| D 最大掘削半径 | 11,440 | |
| *E 最大掘削高さ | 12,350 | |
| *E 最大ダンプ高さ | 8,740 | |
| *F 最大掘削深さ | 5,240 | |
| *G 最大ダンプ高さ時半径 | 6,090 | |
| H 最大バケット開口幅 | 1,880 | |

注 *印寸法はシューラグ高さを含みません。

各種バケット(ローディングショベル)

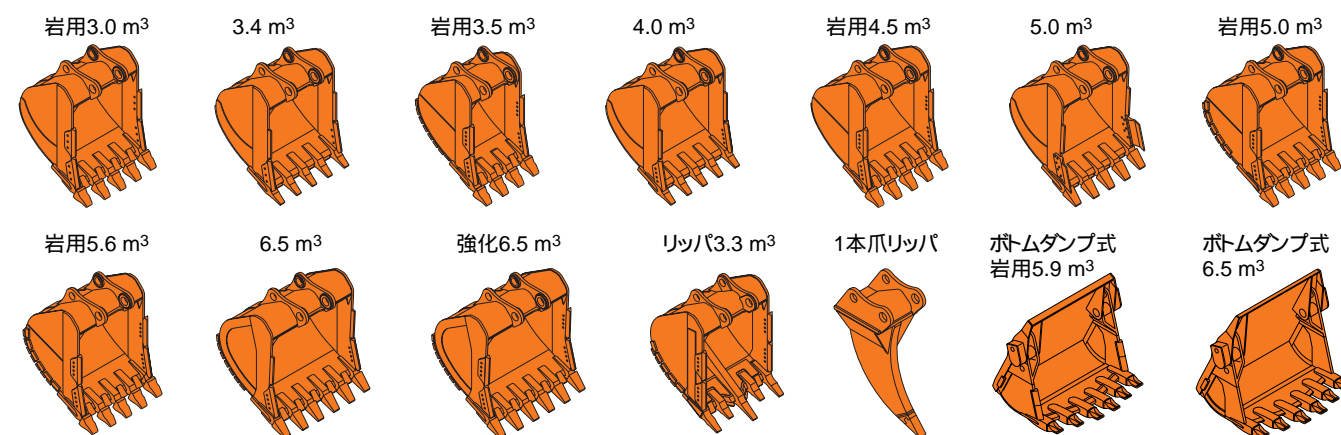
| 容量 m ³ | 幅 mm | 開口幅 mm | 爪数 本 | 質量 kg | タイプ |
|-------------------|-------|--------|------|-------|------|
| 山積 | | | | | |
| 5.9 | 2,510 | 1,880 | 6 | 9,780 | 岩掘削 |
| 6.5 | 2,700 | 1,880 | 6 | 9,200 | 一般掘削 |

寸法図



注 ()内はローディングショベルの数値です。

バケット形状 :バックホウ :ローディングショベル



主要装備品

全仕様共通基本装備品

油圧システム

- E-P制御
- OHS
- オートアイドル
- クイックアイドル
- パワーモード S/P・P・E
- ブームモードスイッチ
- ヘビリフトモード
- ブーム / アーム再生機構

安全装備品

- ロックレバー
- 巻き込み式シートベルト
- 緊急脱出用ハンマ
- キャブ右窓ガード
- 左右サイドミラー
- 作業灯(2灯)
- 可倒式作業灯(2灯)
- サイドウォーク&大型手すり
- 強化型昇降ステップ、はしご&大型手すり
- ノンスリップテープ
- ボンブ隔壁
- ステップライト

キャブ/室内装備

- ヘッドガード一体型加圧式キャブ
- 外気導入式加圧フルオートエアコン
- 回転式ルーバ(デフロスタ)
- ホット&クールボックス
- ドリンクホルダ(ホット&クール機能付き)
- モニタパネル&スイッチパネル
- 時計付きオートチューニングAM/FMラジオ
- サスペンションシート(KAB500シリーズ)
- 間欠ウインドウワイパ&ウインドウウォッシャ
- フロアマット
- ルームライト
- 12V電源端子
- 前面合わせガラス
- 液体封入防振ゴム

その他

- DLU(データロギングユニット)
- 国土交通省、EPA、EU排出ガス2次規制対策型エンジン
- エンジンプレヒート
- ウレタン塗装
- 耐熱コルゲートチューブ
- 自動給脂装置
- ホースリール付き電動式ルブリケータ
- 工具箱&工具一式
- 樹脂製部材の材料表示

全仕様共通オプション品

- 衛星通信キット
- 走行警報装置
- フルトラックガード
- 消火器
- 前面ガラス飛散防止フィルム
- キャブ前面ガード
- サンバイザ

仕様別装備品

:基本装備 :オプション

| | EX1200-5C BEフロント | EX1200-5C 標準仕様機 | | | EX1200-5C ローダフロント |
|-------|--|--------------------|----------|--------|----------------------|
| | | 標準アーム | セミロングアーム | ロングアーム | |
| フロント | 3.4 m ³ (3.0 m ³) 4.0 m ³ (3.6 m ³) 5.0 m ³ (4.4 m ³):(スーパーV61爪) 6.5 m ³ (5.7 m ³):(スーパーV61爪) 3.3 m ³ (2.9 m ³) リップ 1本爪リップ 6.5 m ³ : 標準ローダバケット | | | | |
| アーム | 3.4 m標準アーム 3.4 mBEアーム 4.5 mセミロングアーム 5.8 mロングアーム へこみ防止プレート へこみ防止角材 アーム先端ボス耐摩耗プレート フローティングピン 一体型リンク | | | | |
| ブーム | 9.1 m標準ブーム 7.55 mBEブーム ローダフロント(ブームおよびアーム) | | | | |
| 下部走行体 | 710 mmグローサシュー 900 mmグローサシュー 900 mmフラットシュー | | | | |
| 上部旋回体 | 1,100 mmハイキャブ(緊急脱出ロープ付き) 1,900 mmスーパーハイキャブ(緊急脱出ロープ付き) | | | | |
| その他 | 緊急脱出用ロープ | | | | |

日立建機株式会社

東京都文京区後楽 2-5-1 〒112-8563
国内事業本部 ☎ 03)3830-8040
URL: <http://www.hitachi-kenki.co.jp>

カタログに記載した内容は、予告なく変更することがあります。
掲載写真は、販売仕様と一部異なる場合があります。
機械を離れるときは、必ず作業装置を接地させるなど、安全に心掛けてください。
機体質量3トン以上の建設機械の運転には『車両系建設機械運転技能講習修了証』の取得が必要です。

資格取得のご相談は 株 日立建機教習センタの各教習所へ

教習センタ TEL.048-931-0121 神奈川 TEL.042-730-6716
北海道 TEL.0133-64-6388 愛知 TEL.0564-57-7123
宮城 TEL.022-364-6143 京都 TEL.075-957-4944
埼玉 TEL.048-931-0121 岡山 TEL.086-464-5411
茨城 TEL.029-828-2370 福岡 TEL.092-963-3634



安全に関する正しい操作と、周囲への思いやりは、安全作業の第一歩です。
ご注意 ご使用の前に、必ず「取扱説明書」をよく読み、正しくお使いください。

お問い合わせは...